

開館したノシップ寒流水族館は、去る7月21日、開館50周年を迎え、記念セレモニーを実施しました。セレモニーでは、開館50周年を機に募集していた施設の愛称を、応募総数197件の中から「稚内」



また、青少年科学館と共に記念イベントを実施し、水族館50年の歴史を振り返るパネル展や、友好都市の石垣市、枕崎市のさかな展示を行ったほか、科学館では海の科学のパネル展、南極に棲む生き物の映像やオーロラの上映会などを行いました。

が経過し、施設の老朽化への対応は勿論ですが、施設職員の様々なアイデアや工夫により、さらに子どもたちに喜んでもらえる企画に取り組みたいと考えています。今後引き続き、この「わかかりうむ」が多くの市民の皆さんや観光客の皆さんに、笑顔をもたらす施設であり続けることを願っています。

次期一般廃棄物最終処分場の整備について

次期処分場の整備については、昨年6月定例会の一般行政報告で、約11万トンの一般廃棄物が埋め立て可能な覆蓋型施設を、PFI事業として実施する旨をご説明していましたが、このたび、7月26日に北海道からの施設設置許可を受け、7月30日から施設の整備工事に着手をし、8月1日に整備・運営事業に係る安全祈願祭を執り行いました。

この事業は、昨年12月に契約を締結した「特別目的会社稚内環境テクノロジーズ株式会社」が実施し、今年度は、主に土地の造成、来年度から施設整備が行われ、2年後の2020年12月か

らの供用開始を目指し、工事が進められます。本市はこれまで、ゴミの減量化に対し、リサイクルの推進に重点を置いた取組を行っていましたが、一人一日当たりのごみの排出量は、平成28年度実績で全道35市の中で2番目に多いという状況にあります。こうした状況から、本市が目指す環境都市実現のため、今後、食品ロスの削減の取組や過剰包装削減の徹底など、事業者や消費者団体とも連携を図りながら、ゴミの排出抑制に向け取組を進めていきます。引き続き、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

稚内・コルソコフ定期航路利用促進合同会議等の開催について

8月24日、ANAクラウンプラザホテル稚内において、サハリン州政府や友好都市3市などの関係者15人を迎え、開催した「定期航路利用促進合同会議」では、定期航路は、なくてはならない重要な航路との認識を伝えた上で、現行の小型旅客専用船は、波に弱く、欠航率が高いという快適性や

定時性の課題により、団体利用から個人客中心の利用に変化をし、利用客数の低迷に繋がっていることを指摘しました。今後は、本年度の運航終了後、速やかに支援策の効果も含めた運航状況等を精査したいと考えています。また、午後からの「友好都市経済交流促進会議」では、「人的交流」や「経済交流」について、サハリン側や本市の各分野の代表が、両地域における連携強化や様々な取組に対し、建設的な意見交換を行い、今後の両地域の発展に向けた有意義な会議となりました。両会議ともに、すぐに結果を生み出すものではありませんが、両地域、両国の発展に向け、国境のまちとしての役割をこれからもしっかりと果たしていきたいと考えています。

全日本空輸、フジ・ドリームエアラインズへの訪問について

9月3日、本市をはじめ、利札3町の首長や稚内空港高度利用協議会会長、管内観光協会の代表とともに、全日本空輸(ANA)とフジ・ドリームエアラインズ(FDA)の本社を訪問しました。

本年度3年目の取組となる「広域観光周遊ルート」では、「空港」をキーワードに、首都圏、道央圏に滞在する国内外からの観光客を宗谷地域に集客し、宗谷を拠点

とした周遊観光を促進する取組を行っています。ANA本社では、羽田・千歳便の輸送力の強化、現在休止中の関西・中部便の運航の再開、インバウンド観光に対する地域との連携、広域周遊観光の促進など、宗谷地域への誘客力・競争力がより高まる、航空路線の維持・拡充について要望してきました。

また、6年目を迎えたFDAチャーター便は、9月6日を以って今年度の就航をすべて終えました。FDAには、この夏、全国各地で様々な自然災害が発生したにも関わらず、今年度も大変健闘していただいたと受け止めています。それらを踏まえ、FDA本社において、本市はもとより宗谷地域全体における観光振興への貢献に対して、感謝の意を伝えるとともに、今後の継続した運航体制について要請をしてきました。本市においても、今後、搭乗率向上や誘客対策において各航空会社との連携を強化するとともに、広域周遊観光の促進のため、宗谷地域一丸となった観光資源の磨き上げに努め、地域経済の活性化に繋がっていきたく考えています。

9月補正予算

- 【一般会計】 9億8,126万1千円 追加
- 【特別会計】 -
- 【企業会計】 2,500万円 追加
- 【補正総額】 10億 626万1千円 追加

※一般会計、特別会計、企業会計を合わせた予算総額の前年度同期比は4.0%の減となります。

【一般会計補正予算の主な内容】

総務費	225万8千円
調査整備検討事業	ほか
民生費	4,539万4千円
介護サービス提供基盤等整備事業費補助事業	ほか
衛生費	1,421万7千円
リサイクルセンター整備事業	
農林水産業費	1,907万1千円
水産加工施設整備事業費補助事業	ほか
土木費	8億9,404万6千円
除雪対策管理事業	ほか
教育費	627万5千円
スキー場維持管理事業	ほか